

研究協力をお願い

私は、兵庫県立大学大学院看護学研究科博士前期課程で母性看護学を学んでいる十河由紀と申します。私はこれまで助産師として臨床現場で勤務し、死産された女性やそのパートナーの方と関わらせていただいております。

今回、「死産を経験した父親がその子どもに会うことの意味」というテーマの研究において、死産された女性のパートナーの方が死産という経験をどのように受け止め、特にお子様とお会いになることやお会いにならないことをどのように感じておられるのかを伺い、臨床現場において死産された女性のパートナーの方とお子様と一緒に過ごせる時間をどう支援させていただけば良いのかを明らかにしたいと思っています。現在、研究の主旨をご理解の上、ご協力いただける方を募集しております。

◆ご協力いただきたい方は以下の通りです。

- ・過去5年間に妊娠12週以降の死産を経験された女性のパートナーの方(今回の研究では、人工妊娠中絶によりお子様を亡くされた方、新生児死亡をされた方は含みません)。
- ・日本語で面接に答えることができる方。
- ・近畿、中国、中部、関東地域にお住まいの方

◆募集期間：5名の方に研究協力の同意をいただけるまで

◆募集人数：5名

5名の方から研究協力の同意をいただいた時点で、募集を終了させていただく予定にしております。研究協力者の募集が終了した後に、連絡をいただいた場合には、誠に勝手ながらお断りさせていただくことがございますのでご了承ください。

◆死産された女性のパートナーの方にご協力いただきたい内容は以下の通りです。

- ・1回60～90分の面接をお一人様ずつ2回お願いさせていただきます。また、お話しきれない場合や追加でお聞きしたい事項が生じた場合は、別の日に3回目の面接をお願いすることがあります。
- ・面接内容は、死産された女性のパートナーの方の年齢やご家族のこと、妊娠中の思い、死産をされた時の状況やお子様に対する思い、死産を経験されたことに対する思いなどについてです。
- ・面接の日程や場所は、相談の上、決めさせていただきます。
- ・面接会場までの交通費および謝礼金のお支払いができませんことをご了承ください。そのため、面接会場は、ご希望をお聞きした上で、ご都合のよい場所で、かつ、プライバシーが確保できる場所でさせていただきます。

◆死産された女性のパートナーの方がご協力していただくにあたり、以下のことをお約束いたします。

- ・研究への参加は自由意志によるものであり、お断りいただいた場合に、あなた様に不利益になることは一切ありません。
- ・一度、研究協力に同意をいただいた場合でも、その後いつでも撤回・辞退していただけます。
- ・研究者からの質問に対し、答えたくない内容があれば無理にお答えいただかなくても結構です。
- ・面接を中断・中止したい場合は、研究者にその旨を伝えていただくことで、いつでも中断・中止することができます。

- ・面接後、不安、気持ちの落ち込み、不眠などの症状が出現した場合は、本書に記載している研究者連絡先に連絡をいただければ、自助グループや医療機関等、あなた様が利用可能な資源について情報提供させていただくなどの対応をさせていただきますので、いつでもご連絡ください。
- ・お聞かせいただいた内容や情報に関しては、個人が特定されないようにお名前は匿名で扱い、固有名詞は全てコード化し、パスワード機能のある USB メモリ、パソコンでデータ処理を行い、お話の内容や記録物は紛失や漏えいが起こらないように鍵のかかる場所に厳重に保管いたします。
- ・途中で研究に協力いただけなくなった場合においては、その時点で全てのデータを破棄致します。
- ・今回の研究で得られた情報は、研究以外の目的で使用するのではなく、本研究終了後から 5 年間保管し、その後、電子媒体に保存したデータはデータ消去ソフトを使用してすべて消去し、紙媒体によるデータは裁断し、破棄いたします。

以上のことをお読みいただき、本研究への参加に同意をいただける場合は、恐れ入りますが、下記研究者連絡先までご連絡いただきますようお願いいたします。ご連絡いただきましたら、後日直接お会いし、本研究の主旨や協力いただく内容、手順、お約束させていただく事項等を改めて研究者から説明させていただきたいと思っております。

本研究に関して、ご不明な点がございましたら、お気軽に下記の連絡先までお問合せください。

【研究者】 兵庫県立大学大学院看護学研究科看護学専攻母性看護学領域
博士前期課程 2 回生 十河 由紀
連絡先) e-mail: yuki.s0219@outlook.jp

【指導教員】 兵庫県立大学大学院看護学研究科母性看護学
教授 工藤 美子